

狂犬病のワクチン接種は必要か



毎年4月から6月は、狂犬病予防注射期間です！

日本では、1957年以降、狂犬病は発生していません。

日本で発生していない病気なのに、犬の狂犬病予防注射は、なぜ必要なの？と思う方もいるでしょう。

海外では、まだ多くの国と地域で狂犬病が発生しています。

狂犬病は、海外から日本に侵入する可能性が十分にあるのです。



国内で飼われている犬が、狂犬病予防注射で免疫されていれば、万が一、狂犬病が日本に侵入したとしても、国内での犬を介した狂犬病のまん延、すなわち人への感染を防ぐことができるのです。

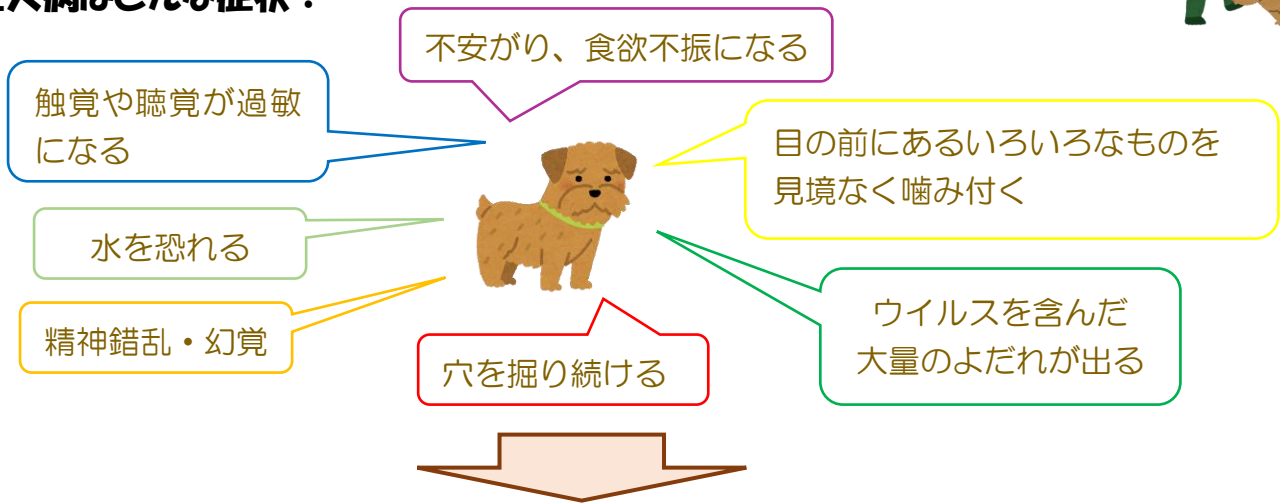
☆狂犬病は、人獣共通感染症です。

人、犬、猫、ウサギ、ハムスターや、ネズミ、コウモリなどの野生動物も！

- 全ての哺乳類に感染する恐ろしいウイルスです。
- 人への感染は、狂犬病ウイルスをもった動物に咬まれたり、狂犬病ウイルスが入った唾液を触ることによって、身体にウイルスが侵入し、発症します。人の狂犬病による死亡の原因の99%は、犬による咬傷によるものです。



☆狂犬病はどんな症状？



やがて、激しいケイレン発作や脳や全身の筋肉が麻痺を起こし、呼吸不全で死亡します。

発症すれば、「致死率100%」！！

発症してしまったら、残念ながら治療方法がありません。

※人にも感染し、同じような症状が出て、死に至ります。

狂犬病は、毎年世界中で約5万人の死者を出している、とても恐ろしい病気です！

☆日本の狂犬病対策

1950年（昭和25年）に狂犬病予防法が制定されました。

❁ 飼い犬の登録

⇒犬の所有者は、飼い始めて30日以内に、市区町村への登録が必要です。



犬に鑑札と注射済票を付けましょう！

犬の登録をすると、「鑑札」がもらえます。

❁ ワクチン接種の義務

⇒年一回の狂犬病予防ワクチンを接種することが義務づけられています。



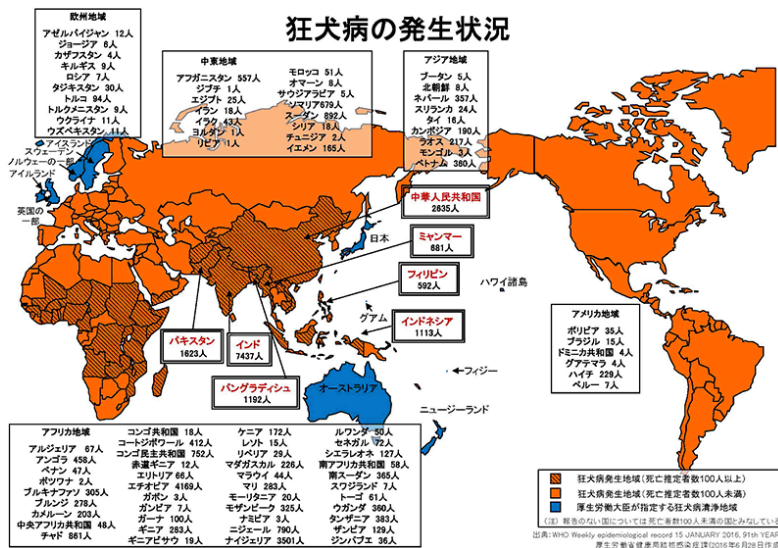
狂犬病の予防注射をすると、「注射済票」がもらえます。

❁ 徹底した野犬の駆除



徹底した管理・対策によって狂犬病は日本から撲滅されました。

☆しかし、海外では、まだまだ狂犬病が発生しています。



■と◆が狂犬病発生国です。
■が狂犬病清浄地域です。
狂犬病の脅威はいつもすぐそばにあります。

厚生労働省 HP より

【海外での狂犬病発生状況】

近年、日本と同じく50年以上狂犬病の発生が無かった台湾で、狂犬病が発生しました。2013年に狂犬病感染した野生のイタチアナグマに咬まれた犬が狂犬病を発症し、安楽死されました。また、2017年には、狂犬病感染した野生のイタチアナグマから人への感染が確認されています。



イタチアナグマ
ウィキペディアより

海外へ旅行する際は、野生動物に近寄らない、むやみにさわらないように気を付けましょう。

海外からの野生動物の侵入や、ペットの違法輸入などで、いつでも狂犬病ウイルスが日本に入ってくる可能性があるのです！

狂犬病予防注射は、あなたの犬を守るためだけでなく、家族を、そして社会を守るために必要なことなのです。